

しながわCSR推進協議会 活動レポート2016

● CSR推進協議会総会を開催

平成 28 年 7 月 21 日 (木) に品川区役所で平成 28 年度しながわ CSR 推進協議会の総会が開催され、45 企業 52 人が出席しました。

開会にあたり、協議会会長(濱野品川区長)より「協議会の加入会員数は、発足時の約 3 倍となりました。まだ区内には社会貢献活動をされている会員ではない企業・事業所が多くあると思いますので、協議会への参加を呼びかけていきたい」とあいさつがあった後、新規入会企業 6 社による社会貢献活動事例を交えた自己紹介、平成 27 年度協議会活動報告、平成 28 年度協議会活動予定の説明が行われました。

次に企業が日頃取り組んでいる社会貢献活動について、会員企業である黒田電気株式会社から品川区の放置自転車をタイ国の子ども達に寄付する放置自転車寄贈プログラム、株式会社文化堂から移動スーパー「とくし丸」で取り組んでいる高齢者見守りや防犯パトロールの活動事例が報告されました。

出席者は各企業の具体的な取組事例やその中での課題などについて、メモをとりながら熱心に聞き入っていました。

総会終了後、希望する企業を対象に平成 28 年 3 月にリニューアルオープンした「しながわ防災体験館」で、初期消火や応急救護等の体験会を実施しました。



〈議 題〉

- (1) 平成27年度しながわCSR推進協議会の活動報告について
 - ①総会 ②課題別分科会 ③パネル展 ④CSR講演会と活動事例発表会
 - ⑤合同活動（清掃美化活動） ⑥メールマガジン
 - ⑦その他（品川区消費生活・社会貢献活動展）
- (2) 平成28年度しながわCSR推進協議会の活動予定について
 - ①幹事会の立ち上げについて ②課題別分科会について ③パネル展について
 - ④協議会の合同活動について ⑤CSR講演会と活動事例発表会 ⑥メールマガジン
 - ⑦その他（品川区消費者生活・社会貢献活動展、しながわ職場歩き）
- (3) 会員企業の取り組みの紹介
- (4) 意見交換

● 課題別分科会(障害者に対する理解促進)を開催

平成 28 年 12 月 14 日(水)、協議会では「障害者に対する理解促進」をテーマにした分科会を設け、17 企業 18 名、社会福祉法人福栄会、社会福祉法人げんきが参加し、障害者の理解に関する意見交換を行いました。

まず区担当者より、「障害者に対する理解促進の講話」として、“事業者としての役割”“雇用者としての役割”“品川区の対応”等について説明しました。その後、福栄会の施設である第一しいのき学園と第二しいのき学園で、知的障害者の方の生活や仕事への取り組みなどを見学しました。見学後の意見交換では、障害者を雇用する際の配慮、障害者施設の入所定員などについて、区と社会福祉法人と企業間での活発な情報交換が行われました。

※社会福祉法人福栄会では、障害者、高齢者施設および児童福祉施設等を一体的に運営する都市型の総合福祉支援を行っています。

※社会福祉法人げんきでは、障害者の方々が地域の中で安心して安全に暮らせるための、障害者の就労支援・発達障害者支援・障害児者とその家族等の支援を行っています。



福栄会 本部総合福祉施設
(品川区東品川 3-1-8)



しいのき学園では、主に知的障害者の方が安定した生活を送れるように、日常生活の質を高めるための支援を行っています。



〈議 題〉

- (1) 障害者に対する理解促進の講話
- (2) 福栄会の施設見学（障害者の作業・業務の様子等）
- (3) 意見交換
障害者雇用する際の配慮、障害者施設の入所定員 等



● CSR講演会と活動事例発表会を開催

平成 29 年 2 月 7 日(火)、きゅりあん小ホールにて、品川区制 70 周年記念 CSR 講演会と活動事例発表会を開催しました。



● 第一部 CSR講演会



テーマ 「企業の社会貢献活動
どう社内に根付かせるか」

講師 CSR アジア 日本代表
赤羽 真紀子 氏

講演会では、CSR アジア 日本代表の赤羽真紀子氏が、日本やアジアの企業の取組事例を紹介したり、社会貢献活動を企業の本業につなげるヒントについて講演されました。

その他にも、「企業と NGO・市民団体等との連携」「社会貢献担当者の悩みと解決案」「社内での社会貢献活動の浸透のさせ方・社員の巻き込み方のコツ」「コミュニティ投資」など、企業の CSR 活動について幅広い分野のお話をいただきました。





● 第二部 活動事例発表会

本多通信工業株式会社 社会貢献活動事例紹介

協議会の会員による活動事例の報告では、本多通信工業株式会社が、社会貢献活動事例として、以下4点の活動などを説明され、最後に今後取組みを予定している「障害者雇用」、「2020 東京オリンピック・パラリンピックへの貢献」について紹介がありました。

【主力工場のある長野県安曇野市における活動】

- ①自社工場にて「HTK まつり」を開催。地域の方などを対象とした出店や工作教室、工場見学など様々な催しで1,400 人が参加
- ②地域スポーツ振興のため、信州安曇野ハーフマラソンに協賛し、ランナーやボランティアとして約70 人の従業員が参加
- ③隣接する松本市のJ2 サッカーチームのスポンサーをし、子ども向けのサッカークリニックなどを開催して松本地域の活性化に貢献

【本社のある品川区大崎における活動】

- ④御殿山小学校の児童を対象とした工作教室の開催など



参加者アンケート（抜粋）

- ・コミュニティ投資の話が大変参考になった。投資の効果測定をし、社内理解を深めたい。
- ・社内への浸透の仕方について具体例をあげて説明していただいたのがよかった。
- ・アジアという視点が新鮮でした。日本と世界という観点は良く見ますが、中間にアジアという視点があって然るべきだと考えさせられました。
- ・講演を聞く前は、社会貢献は一方的なイメージでしたが、お互いが得られる活動こそが良い活動だと感じました。社会ニーズが求める活動をし続け、その活動に対しては目標を決め、評価し改善していくことにより、より良い活動が出来ると思いました。
- ・企業として CSR 活動の必要性を感じているが、なかなか社員のやる気を引き出せそうにないと感じています。今日の講演が少しでも社員の背中を押すようになればと思います。
- ・自社の CSR 活動がコンプライアンスに偏りがあり、社会貢献活動を厚くしていきたいと思っているので参考になる講演でした。中間支援団体の活用も参考になりました。
- ・移転してあまり間が無いのに品川でも CSR 活動を展開されていて立派だと思いました。障害者雇用は当社も悩んでいます。
- ・メーカーとして多様な活動の報告であり、興味深かった。
- ・どの活動にしろ、地域の方との触れ合いが多く、人との繋がりを大事にしている企業だと感じた。
- ・特別な活動をしている訳でなく、ステークホルダーとのコミュニケーション、社内への展開がとても参考になった。

● パネル展を開催

平成 28 年 9 月 16 日（金）から 30 日（金）まで区役所 3 階連絡通路およびスクエア荏原 1 階通路で「しながわ CSR 推進協議会 パネル展」を開催しました。

パネル展では、協議会の活動や、防災・教育・環境・福祉・地域活動など様々な分野での会員企業の社会貢献活動事例について、区民の皆様に紹介しました。

